

学年
通信

魂知輪

令和6年6月4日
第15号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

各教科学習法 (実技教科編)

期末テストが近づいてきました。テストまでに、各教科の勉強について、私なりの勉強法(合うなら採用してください)を紹介したいと思います。これまでに進路学習で、公立一般入試の500点の半分は、内申点だという話も聞いていると思います。具体的な数字は、5教科が×4、実技教科が×7。5、になるので、実技教科の点数が、未来を左右するといっても過言ではありません。私が中学2年生の時、評定平均は3でした。3年生に進級し、この学習法を実践してから、評定平均が4。2まで上がりました。特に実技教科(技術家庭・保健体育・美術)では、有効な学習法なのではないかなと思います。

音楽の「ボレロ」の楽曲について紹介しているページですが、曲の成り立ちや構成、どのような演奏形態であるかなどが書かれています。実際に授業で触った楽器の名前であったり、作曲者がオーケストラで普段使われない楽器を用いて作曲したことであったり、問題にしやすいことが多くあります。教科書には、教科によって重要語句を太字で示しているものがあります。太字の部分は基本的にチェックですが、授業で扱っていない(触れていない)所に関して、技術は出題されないような気がします。(根拠はありません)ただ、太字だけ覚えていればよいという都合のいいテストなんてありません。2~4歳にかけては第1次反抗期と言われ、という所など、私は去年出題した記憶があります。(今年はわかりませんよ)

【教科書が太字+プリントに書いてある+ワークで同じような問題がある=出る可能性が高い】

というのが、実技教科の鉄則です。さらに、実技教科は、基本的に作業であったり身体を動かしたりという授業が基本なので、座って講義型の授業を受けるということは少ないです。ですが、保健体育の保健の分野は教室で授業を受けますよね。その時に、先生が話をされていることを聞き逃さず、蛍光ペンで、チェックを入れる、アンダーラインを引くことが大事です。よく、メモ帳に書き込む人がいます。それも悪くないのですが、せっかく教科書に書いてあることをメモ帳に書いてあるので、時間のロスが多いのと、その間に別の重要事項を聞き逃すデメリットもあるので、基本的に教科書にチェックを入れることをおすすめします。もし教科書外の内容でテストに出るぞ!と言われた時には関連する教科書の部分に書きこめばいいと思います。そして、その教科書を利用して、家でテスト勉強をする際に思い出しながら重要な語句を書いて覚えましょう。書いて、見て、読んで覚える!

楽曲について

ラヴェルは「ボレロ」を、バレエのための曲として作曲しました。この作品には、18世紀末にスペインで流行した3拍子系の舞曲であるボレロのリズムが使われています。このリズムは、小太鼓によって繰り返し演奏され、それによって2つの旋律が交互に現れます。2つの旋律は楽器の組み合わせを変えながら何度も繰り返され、曲全体が1つの長いクレシェンドで演奏されます。今日では、バレエを伴わずに、オーケストラの作品として演奏されることも多くなりました。



M.ラヴェル (1875-1937)

ラヴェルはフランスの作曲家です。「オーケストラの魔術師」といわれるほど管弦楽法に詳しく、色彩豊かな作品をつくりました。

心の発達を支える

2~4歳にかけては第1次反抗期といわれ、拒否や抵抗が目立つようになります。これは自我が芽生え、自己主張ができるようになった現れです。幼児は言語の発達が不十分なため、自分の気持ちをうまく伝えられなかったり、情緒の発達が十分でないため、自分で気分を変えることがうまくできません。しかし、思いや欲求を受け止めてもらう経験を重ねることで、他者を受け入れることができるようになり、社会性が育ちます(図1)。

【幼児の世界】はおもしろい
・雨を聞く「空が泣いている」と言う。
・ヒーローになりきって格闘する。
幼児は、「自分と別」と自分を中心にするため、命のないものにも命があると想ったり、自分が知っていることは他の人も知っていると考えたりします。空想や願望と現実の区別がつきにくいのも特徴です。

話し合ってみよう

- 3歳のひろちゃんは、友だちのぶもちゃがほしくなり、頻りに「買って!」とせがんで泣きわめいています。あなたが親だったらどう対応しますが、右の例を参考に考えてみましょう。また、なぜそうしようと思えますか。
- p.35「家族や周囲の大人の役割」を読んで、ひろちゃんはどのような思いだったのか、想像してみましょう。



買ってあげるとはいいが、「買ってあげる」と言っておく。
「それは何だ?」と親が向きを、気をそらす。
泣きやまずで、おしこみ入れて、泣かせるようにしよう。
「泣くんじゃないか」と優しくしめる。
なぜ買ってあげないのか理由を丁寧に話す。
泣きやまずで待たせ、伺いしない。

処理の基本と表現

処理の手順や構造を表現するには、アクティビティ図などの統一モデリング言語(UML, Unified Modeling Language)や、フローチャートなどを用います(図2)。このような図を用いることで、プログラムを作る前に内容を整理し、他者と協働するときに役立ちます。

プログラムを作るためのアルゴリズム(処理の手順や構造)は、順次、反復、分岐の三つを基本としています。これらを組み合わせることで、さまざまな処理ができます。

連絡 お願い 連絡

- 1 昨日、高校説明会の開催についての文書を配付しております。ご確認ください。
- 2 修学旅行費用お振込みについての文書を配付しております。ご確認ください。